

大谷學報

第三十八卷 第一號

昭和三十三年六月二十日 發行

妙好人的信仰の思想史的系譜

—「惡人正機」の自覺の歴史—

柏原祐泉 (一)

精神薄弱兒の人格的適應に關する研究

大西憲明 (一九)

ペルグソンと神祕主義 岩見至 (三七)

俗講に關する疑義 平野顯照 (四八)

齊藤唯信先生の業績 名畠順 (五九)

略年譜及論文著述目錄

岩見護先生を憶ふ 福原一來 (六〇)

略年譜及論文著述目錄

眞宗同學會大會研究發表要旨 (六〇)

新刊紹介 (七九) 彙報 (八三)

開講學科目 (八五) 卒業論文題目一覽 (八六)

大 谷 大 學
大 谷 學 會

THE ANNUAL REPORT OF
RESEARCHES OF
THE OTANI UNIVERSITY
No. 10 (1957)

CONTENTS

- The Significance of "Anschauung" in Philosophy.....Kenji Kawase
On the Description of the Second Parināmana
 in the Kyō-gyō-shin-shōSyūken Inaba
Yūzū-nembutsu 融通念佛, Dainembutsu 大念佛 and
 Rokusai-nembutsu 六齋念佛Shigeru Gorai
On the Buddhism of the Kushan Dynasty.....Kyōgo Sasaki
Goethe's "Wahlverwandtschaften"Shigeichi Kishi

大谷大學研究年報 第十集

ゲー ^一 テの「親和力」	岸繁	哲學における直觀の意味について	河瀨憲次
.....	一悟	五 來	稻葉秀賢
.....	佐々木教	クシヤーナ時代における佛教の一考察	稻葉秀賢
.....	ーとくにアシュヴァゴーシャと	稻葉秀賢
.....	その周邊について	稻葉秀賢

THE OTANI GAKUHO

(THE JOURNAL OF
BUDDHOLOGY AND CULTURAL SCIENCE)

CONTENTS

Articles :—

- The Faith Cherished by the *Myōkōnin*: its Geneology
in the Thought History *Yūsen Kashiwabara*
- Psychological Problems in Mental Deficiency (3) *Kenmei Ōnishi*
- Bergson and Mysticism *Italu Iwami*
- Doubtful of Points Concerning *Su-chiang* *Kenshō Hirano*
- The Late Professor Yui-shin Saitō: Memoirs *Ōjun Nabata*
- The Late Professor Mamoru Iwami: Memoirs *Ichirai Hukuhara*
- Annual Reports of the Shinshū Dōgakukai
- Book Reviews
- Reports

大谷學會會則

理する

大谷學會役員

- 二、理事は會長を補佐する
三、委員は編集・庶務・會計の事務

會長 山口 益
を分掌する

第七條 役員の選出及任期を左の通り定める

委員 稲葉秀賢 橫超慧日 坂本 弘
杉平顕智 世良壽男 多屋頼俊
名畑順 野上俊靜 藤島達朗

第一條 本會を大谷學會と稱し、事務所を大谷大學内に置く

第二條 本會は佛教學・哲學・史學・文學並びにこれに關連する諸般の研究

及びその發表を目的とする

第三條 本會の會員は大谷大學教職員・學生及び本會の趣旨に贊同する者とする

第四條 本會は左の事業を行う

一、「大谷學報」(年四回)及び「大谷大學研究年報」を發行する

二、毎年春秋二回公開講演會を開く

三、隨時研究會を開催する

四、その他圖書の出版等必要な事業を行ふ

第五條 本會に左の役員を置く

一、會長 一名

二、理事 二名

三、委員 十名

第六條 役員の任務を左の通り定める

一、會長は本會を代表し、會務を統

附則 本會則は昭和二十七年四月一日から實施する
以上

第八條 會員は「大谷學報」及び「大谷大學研究年報」の配布を受け、本會主催の會合に出席する事が出来る

會計委員 吉田嘉一郎
補助委員 片桐昭雄
編集委員 舟橋一哉

昭和三十三年六月二十日發行

編集兼發行者 舟橋一哉

印刷者 西村七兵衛

によらなければ變更する事が出來ない

第十條 本會則は大谷大學教授會の決議を納めるものとする

京都市北區小山上總町
大谷大學内

發行所 大谷學會